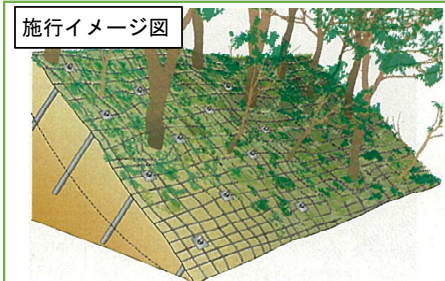


(様式1-2) 新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		治山		路河川名等						
事業毎の通番		1	市町村名	豊丘村	箇所名(ふりがな)	北垣外(きたがいと)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-2①災害に強い県づくりの推進			SDGsの関連目標	  				
	関連する計画や重点施策	第3期長野県強靱化計画			関連する事業プロジェクト	なし				
	現状と課題	当該箇所は、天竜川に面した急傾斜の段丘崖に位置し、その直上部には人家、耕作地及び県道が存在する。現地は、度重なる降雨等により表層土が移動し、森林内の樹木根系の浮き上がりや、住宅(蔵)基礎部への影響等が確認されている。今後の降雨により山腹斜面の変状が進むと、大規模な山腹崩壊が発生し、近接する人家・耕作地及び県道に被害を及ぼす危険性が高いことから、山腹工を施工し、地域住民及び観光客等の安全・安心の確保を図る。								
	事業目的	山腹工を実施することにより山腹斜面を安定させ森林化を図り、斜面直上の人家・耕作地及び県道の保全を図る。								
事業概要	着手年度	2026年度(令和8年度)		事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完了年度(予定)	2029年度(令和11年度)					国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容	山腹工0.10ha [補強土工 1,000m ²]			150,000	75,000	—	67,000	8,000	
	 (豊丘村北垣外)  計画箇所  計画箇所  人家(蔵)基礎部に変状  土壌流亡による根系の浮き上がり  施行イメージ図									
	事業効果	主な受益対象	人家4戸、県道100m							
期待される効果		【直接効果】 山腹斜面の安定が図れることにより、近接する人家4戸・県道(主要地方道)100mの安全・安心が確保される。 【間接効果】 県道(主要地方道)の保全による交通ネットワークの維持				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.40			
人口減少を踏まえた将来の活用見込み		保全対象である県道(主要地方道伊那生田飯田線)は伊那市と飯田市を結ぶ地域の重要なライフラインであり、将来的に活用されることが見込まれる。								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	近接する人家及び県道の保全の観点から、平成30年以降、豊丘村を通じて地元区から継続的に要望がある。								
	事業説明等の経緯	令和6年3月 地元区と現地立ち合いを実施。 令和7年8月 事業内容の周知、実施方法等の調整を行っている。								
評価結果	所管課の意見	当該地は、度重なる降雨等により表層土の移動及び根系の浮き上がり発生しており、今後の降雨により表層崩壊が発生し直上の人家・県道に被害が及ぶおそれがあることから、対策工を実施する必要がある、事業着手は妥当と判断する。				妥当性評価 ※	優先度評価 ※			
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。				○	3.1			
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—	評価の決定	事業着手				

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)